

## 事業実績報告書

様式 2  
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B15	講座名	りす山の自然学校
記載日	2020/9/30	団体名・企業名	守山リス研究会

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

名古屋市東谷山に18種類の野生動物が生息する環境があることを体感してもらいプログラムを楽しむ「観客の立場」からリスや動物が棲む環境を考え、自分ならどうしていくかという「作り・守る立場」に切り替わる一歩になってくれたらと期待。又子どもたちが「森で遊び、名前を覚え、記憶した事をそのまま正しく答える」という「遊び学習・記憶する教育」から「その生物の立場で考えたときに発見する学習、あなたならどう考えるか・どう対応するかという課題解決学習を知り、「自然のしくみを発見する面白さ」を感じ、アクティブ・ラーニングの体験、口頭や文章で発表する力の向上をして、広く自然を守る活動にも広がればと考えます。



※写真1の説明

設置してあるクロモリアリの巣観察

※写真2の説明

こどもたちによるテレメ調査

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

コロナによって2ヶ月一般参加募集を中止したが、後半になってやっと参加が軌道に乗りはじめた。フィールドでの活動は、7項目の調査をみてもらい、体験してもらってなぜこういう調査が必要かを考えてもらいました。後半の9-10月には新たな調査項目が4項目加わり、合計11項目となったが、会員の子供達がきばきと実施する様子を見てもらうことで、新たに付け加わった調査の狙いや意味を紹介し、森の健康診断をしていることを紹介しました。また後期のプログラムのための、実験的トライとして、参加した子ども達にアンテナと受信機をもたせて、リスを追跡する活動を取り入れ、子ども達だけでも嬉々としてリスの姿を音で追跡したり、巣の位置を探そうとしている姿が見られました。後期の重要なプログラムに組み入れたい。

### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

野生のニホンリスを初めて見て、感動した。観察の仕方、着眼点など初めて見て、知る事がたくさんあり、とてもよかったです。主催者の方や支援者の方の考え方や説明が詳しく、説明も丁寧でわかりやすかったです。東谷山の成り立ちから山の構成からくる環境まで説明してもらってわかりやすかったです。リスとその周囲の環境を観察してデータを継続的に集積してそのリスの生態を守ろうという大変すばらしい活動だと思います。若い人も沢山参加されていて感心しきりでした。